

# 第17回 軽金属女性未来賞

軽金属女性未来賞は、軽金属分野において学術研究または技術開発に顕著な功績をあげ、将来の活躍が期待される女性研究者または女性技術者に贈る。



田中 芹奈 君  
(兵庫県立大学)

田中芹奈君は、Al-Mg-Si系合金におけるクラスタ形成挙動と二段時効による負の効果の発生機構を、放射光XAFS測定と第一原理計算を組み合わせることで、原子番号の隣接したAl, Mg, Siから構成されるナノクラスタに対して、元素選択性を活かしたXAFSを採用により、従来手法では困難であったクラスタ構造の評価に成功し、その主因を明らかにした。これらの成果は、ICAA18にてEarly Career Researcher Award (ECR Award) を受賞したほか、軽金属論文賞、軽金属論文新人賞などを受賞し、国内外で高い評価を得ている。また、軽金属奨学会の特別奨学生として多くの行事に参画し、研究者としての視野と素養を深めてきた。現在は兵庫県立大学にて助教を務め、軽金属だけでなく高分子材料の摩擦・摩耗挙動に関する異分野融合研究にも積極的に取り組んでいる。さらに、学内外でのダイバーシティ推進活動にも尽力しており、持続可能な社会の成長・発展を目指している。

このように同君は、軽金属分野での功績を挙げ、新たな分野での学術研究でも今後さらなる活躍が期待される新進気鋭の女性研究者であり、軽金属女性未来賞に相応しい研究者である。